



令和6年7月1日現在	
世帯数	2,928 世帯
男	3,235 人
女	3,380 人
総人口	6,615 人

島立小学校運動会

6月1日 (土) 雨上がりの中、運動会が開催されました。コロナ禍により連学年ごとの開催と規模縮小されていた運動会は、昨年より全学年合同開催に戻っています。各学年、揃いの衣装や飾りを身に付け、全身を使って練習の成果を発揮しました。5・6年生は組体操とフラッグを織り交ぜた「つなぐつなげる」を披露しました。同

校で大切にしている「思いやり・静かさ・元気・丁寧・清潔」の5つの心がずっと続いていくことへの願いを、力強く美しい演技で全校児童や観客に伝えました。突き上げた明るい色のフラッグの先には澄み切った青空が広がり、希望に満ちた感動的なフィナーレとなりました。

▼スローガン



スローガンは「思いやり・静かさ・元気・丁寧・清潔」の5つの心がずっと続いていくことへの願いを、力強く美しい演技で全校児童や観客に伝えました。突き上げた明るい色のフラッグの先には澄み切った青空が広がり、希望に満ちた感動的なフィナーレとなりました。

ます。更に今年は、開会式で恒例の応援歌「ゴーゴー」に乗せて紅白応援戦が5年ぶりに復活！応援団の迫力の音頭に合わせ児童の元気な歌声が響きました。前半は、かけっこ・短距離走のプログラムです。低学年の軽快な走りから高学年の力強い走りに客席から多くの声援が上がりました。後半は表現のプログラムで



1年生 楽しみながら頑張る玉入れ



2年生 元気を振りまく機敏なダンス



3年生 スピード感ある紅白戦「台風の日」



4年生 躍動的で凛々しい「島立ソーラン」



5・6年生 フラッグ体操と組体操「つなぐつなげる」

木遣りの集い

6月16日(日) 沙田神社二之柱の木遣り衆が、諏訪市文化センターで開催されたイベント「木遣りの集い」に参加し、木遣りを披露しました。



重さ50kgはあろうかという「胴突き」を、地上約1メートルの高さまで、上げて落とすを繰り返すその様子は、御柱祭の本番さながらの迫力で、観衆も熱心に見入っていました。

主催者によると、胴突き唄(土搗き木遣り)は県内でも珍しく、貴重な木遣りとのこと、実演した青年団はこの日のために練習し、納得の出来栄であったようです。

当日は沙田神社木遣り保存会の正副会長、二之柱を担当する町区と永田の青年団、子ども木遣りの総勢33名が、色鮮やかな法被姿でイベントのトリを務め、全8曲を披露しました。子ども木遣りは2曲目で登場し、勢いある元気な唄声がかそのまま庭の芝生へ移動し、胴突き唄を演演しました。

イベント終了後の子どもたちは、「緊張した」「久しぶりの舞台だったけど楽しめた」と感想を語り、「やり遂げた！」という表情が印象的でした。見守っていた家族は「がんばった」「練習の成果が出た」とこやかな表情で話していました。関係者のみなさん、本当におつかれさまでした。



町区 タイムカプセル

5月5日(日)、町区の神明社にてタイムカプセル開封式が、40名超の参列者に見守られて行われました。

この企画は、31年前の平成5年に町区全世帯に声をかけ、未来に向けた手紙や写真、カセットテープや家族構成、近況報告など思い思いの品を家族単位でカプセルに収めたものです。

この年は、隔日で雨が降り続く深刻な冷夏に見舞われ、松本城築城400年、信州博開催、御柱里曳き、町区公民館活動40周年が重なる節目の年に埋蔵されたカプセルでしたが、新型コロナの蔓延を受けて4年の延期を余儀なくされました。

カプセルは丈夫そのもので、開封すると米糠や熟成途中の清酒の匂いがしてきました。幸いにも文字が読め、手紙や写真、カセットが当時と遜色ない状態に胸を撫で下ろしました。奥に詰まっていた品は小学生に入ってもらって取り出し、公民館内に品物を並べる手伝いでも小学生が大活躍しました。

町区には2軒の酒蔵がある



ことから、埋蔵品は家庭ごとの品以外に、お赤飯用の餅米や清酒、ワイン等の酒類がありました。31年寝かされた清酒は、見た目が薄黄色く変わり、香りは酒粕に近く感じます。飲み比べるとそれぞれは紹興酒と老酒に似た味わいでした。

埋蔵品は皆さんの参加・ご協力のおかげで、99%が返却できました。

町会対抗



ソフトバレーボール・卓球大会

島立地区スポーツ協会主催の町会対抗ソフトバレー及び卓球大会が5月19日(日)、島立体育館及び島立小学校体育館にて開催されました。各町会から熱心な参加者が集まり、大会は大盛況となりました。ソフトバレー大会では、各町会のメンバーが練習の成果を発揮し、一体感のある試合が展開されました。卓球大会では、熟練のプレーヤーたちが技術と戦略を競い合い、見応えのある試合が繰り広げられました。本大会は地域の結束力を高め、交流を促進する素晴らしい機会となりました。

成績



ソフトバレーの部

優勝 北栗
準優勝 町区
第3位 三の宮A
三の宮B

卓球の部

優勝 北栗
準優勝 荒井
第3位 堀米
南栗



ゲートボール初心者スクール

島立ゲートボール部 内藤 隆司

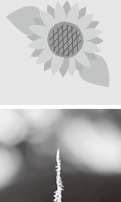


島立ゲートボール部では実際にボールに触れてゲートボールの楽しさを味わっていただく機会として、6月8日(土)、15日(土)に「ゲートボール初心者スクール」を開催しました。両日で30名を超える皆様にゲートボールを体験していただきました。

主なカリキュラムは、競技の概要やルールの説明、スタート打撃、スポーク打撃等の練習を行いました。ゲート



揚羽蝶



ネジバナ

▲南栗稲田と満月



季節の写真

ボールは、試合時間30分、1チーム5名で構成され相手チームと得点を競うゲームです。参加された皆様は、ゲートを通過させることに悪戦苦闘しながらも、「ナイスプレー」の声掛けの連続など徐々に上達していききました。

ゲートボールは、あまり体力を消耗しないスポーツであり、チームワークが大切であると共に先を読んだプレーが勝敗の鍵となり、脳の活性化につながると思います。興味のある方のお声掛けをお待ちしております。一緒に楽しみましょう。